



南が丘通信

教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人
思いやりの心を持ち、互いに協力する人
心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校

校長 宮田 健史

〒177-0035 練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL <http://www.minamigaoka-j.nerima-tyky.ed.jp>

令和3年度 第9号 令和3年12月15日発行

よくてもわるくてもほんたう

主幹教諭 大久保 秀時

漂泊の歌人、種田山頭火（たねだ さんとうか）をご存じでしょうか。「分け入つても分け入つても青い山」「まつすぐな道でさみしい」「あるけばかつこういそげばかつこう」など、定型の五七五にはとらわれない自由律俳句で有名な俳人です。初めて山頭火の句に出会った時は、正直に言って「これは本当に俳句なのか？」と驚きました。しかし、伝記などを読んでいくうちに、「ああ、この人は自分の感じたことを、そのまま文字に起こしたのだ」と思えるようになりました。さらに、何回もその句を読み直してみました。すると「山頭火は、こんなことを考えていたのかも…」と感じるようになりました（下の画像は熊本県八代市日奈久温泉にある山頭火の石碑です）。

山頭火の晩年の日記の中に、「よくてもわるくてもほんたう（本当）」という一文が出てきます。俳句として書き残したわけではなさそうですが、この一行だけ書き出してみると、俳句として読んでもおかしくないような気がしてきます。私は、この一文が気に入り、自らの座右の銘としています。たった13文字のひらがなですから、人によってはいろいろな解釈ができそうです。私はこの一文を「人間には良い面も悪い面もある。人生では良いことにも悪いことにも出会う。でも、一番肝心なのは『ほんたう（本当）』＝『自分のあるがまま』を受け入れ、『自分に真っ正直に』生きることである」と読んでいます。

1年生の総合的な学習の時間では、コミュニケーションについて考える授業がありました。自分の個性を保ちつつ、他者とのかわりを上手に行うためには、どのようにすればよいか。校長の宮田先生の計2回にわたる授業で、1年生は多くのことを学びました。授業後の感想のひとつを紹介します。「自分は人と違う。それが嫌と考える人もいる。でも（自分と他人が違うのは）あたりまえのことなので、（あまり深く悩むより）自分らしくいたほうが良いと思った。」

周囲にいる大勢の人と自分が違うと気づいたとき、例えば服装が違ったり、言葉が違ったり、意見が違ったりすると、不安になる人は少なくないと思います。子供だけでなく大人だって、そのような不安や居心地の悪さを感じたことはあるでしょう。ただし、だからといって、本来の自分の気持ちをおざなりにして、周囲に合わせてしまうことが本当に良いことなのでしょうか。時と場合にもよるのですが、私はやはり無理をせず、自分のままでいたいと感じます。無理をして周囲に合わせたとしても、きっと自分でストレスを抱えて長続きしない。私は感想を書いた1年生のいう通り、「自分らしくいたほうが良い」と考えています。「よくてもわるくてもほんたう」なのです。

「ダイバーシティ（Diversity）：多様性」が注目されています。自分の個性をしっかりと生かしながら、他人の個性も尊重していく。意見が対立した時は、お互いの立場を見つめながら、よりよい解決方法を探っていく。まずは「あなたはあなたのままでいい」ことを忘れてほしい。その上で、本校の生徒たちがこの南が丘中学校の中で様々な価値観と出会い、自分の個性が輝くよう、さらにブラッシュアップしてほしい。私の切なる願いです。



●南が丘中生徒の活躍●

【第58回 練馬区中学校生徒総合体育大会】
第3位 男子バスケットボール部

【第15回 自分で作る朝ごはんコンクール】

銅賞 1年A組
奨励賞 1年A組
1年A組
1年B組
2年A組

【令和3年度 炎天寺一茶まつり全国小中学生俳句大会】

特選 2年C組
「ゴールした 後に聞こえる セミの声」
2年C組
「押し入れに 眠る浴衣の 出番なし」
1年A組
「新鮮な とうきび生で かぶりつく」

【第55回 練馬区珠算コンクール 中学生の部】

個人総合競技 金賞 種目別協議 金賞
2年B組

【令和3年度 環境浄化標語コンクール】

テーマ：「コロナ禍で大切にしたいこと～あなたなら～」
佳作 1年A組
「いつもありがとう
みんな大変な今だから
身近なあなたに贈るエール」
1年C組
「守りたい じぶんの体と みんなの笑顔」
3年C組
「一人一人の行動が
未来へつながる 鍵となる」
3年C組
「たった少しの間隔が
人や自分を 守る武器」

【令和4年度 健やかカレンダー】

入選 1年C組

【冬季休業に入ります】

12月24日(金)には2学期終業式が行われ、「2学期通知表」を発行する予定です。通知表は、生徒がどのように学校で過ごしていたかを振り返る貴重な資料です。担任の所見とともに、ご家庭でしっかりご確認ください。

冬季休業中の部活動予定については、顧問からの連絡をご確認ください。また、12月29日(水)～1月4日(火)は学校休務日のため、学校に教職員はいません。緊急の連絡がある場合は、下記の電話番号に連絡をしてください。

080-7278-2831 (学校携帯・副校長)

●八校合同文化発表会 (E組) ●

11月12日(金)、練馬区の特別支援学級による八校合同文化発表会が練馬文化センターで行われました。音楽の授業だけではなく、昼休みや放課後の時間も使って連日練習に取り組みました。本校はYOASOBIの「夜に駆ける」をボディパーカッションで表現し、合唱曲「COSMOS」を合奏しました。

生徒たちは1500人近く入る大きな舞台に緊張しながら、精一杯の力を発揮していました。



●小中連携の取り組み●

小学生と中学生が直接触れ合いながら、すすんで考え表現しようとする児童生徒を育てるため、本校と南が丘小学校、南田中小学校で小中連携の取り組みを実施しました。

11月30日(火)～12月2日(木)あいさつ運動生徒会の呼びかけにより集まった本校の2年生が小学校の校門に代表の小学生たちと一緒に立ち、登校する児童にあいさつを行いました。

12月7日(火)リトルティーチャー本校の1年生が出身小学校へ出向き、小学2年生の児童に九九の暗唱を支援するなど、算数の学習を手伝いました。



●映画監督が来校●

2年生は、先日実施した「職業インタビュー」のまとめとして、専門家のアドバイスを受けながらショートムービーを制作する予定です。このたび、練馬区の教育支援プログラム「映像文化と教育の連携事業」により、映画「はやぶさ 遙かなる帰還」の監督である瀧本智行氏が12月3日(金)に来校されました。2年生は「映像はどのように作られているか」についての講演を通して、瀧本監督から監督の仕事やそれを目指した思いを伺い、動画制作への興味関心を高めました。

